

第 5 回物質・デバイス領域共同研究拠点活動報告会

「第 5 回物質・デバイス領域共同研究拠点活動報告会」を平成 27 年 4 月 20 日（月）に九州大学カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所（I²CNER）ホールで開催した。九州大学先導物質化学研究所 高原淳所長の開会の辞に続いて、来賓の文部科学省研究振興局学術機関課 牛尾則文課長、次いで九州大学 若山正人理事から挨拶を頂いた。引き続き拠点本部長の八木康史大阪大学産業科学研究所長から拠点活動概要の報告があり、拠点の目的および活動状況が紹介された。次いで各領域から、各領域の一般ならびに特定共同研究に参画されている研究者 2 名、合計 10 名から研究成果が報告された。さらにネットワーク型共同研究拠点の特徴を活かし、産研サテライト会場からインターネットライブ中継を活用し、ナノサイエンス・デバイス研究領域部会（産研）及び物質創製開発領域（多元研）参画共同研究者から成果が報告され福岡会場から活発な質疑応答も行われた。

拠点本部及び共同研究参画者によるポスターセッションの後、帝人株式会社 山岸隆顧問役による特別講演『変わる企業イメージ「創造と革新」』が行われた。報告会終了後にホテルハイアットリージェンシー福岡にて開催された意見交換会では、足立吟也大阪大学名誉教授をはじめ多くの参加者から活発に幅広い意見の交換が行われた。

今回の活動報告会では、拠点研究者、共同研究者、来賓、一般参加者をあわせて 281 名(含サテライト会場での参加者)の参加を得た。また、インターネットライブ中継システムを活用し I²CNER ホールと阪大産研サテライトとの双方向の配信、他の 3 拠点に動画を配信すると共に、拠点ホームページ（<http://live.cm.kyushu-u.ac.jp/20150420/>）からも動画の配信を行い、一般共同研究、特定共同研究成果のより幅広いアピールに取組んだ。このようにネットワーク型共同研究拠点活動 5 年目の平成 26 年度活動報告会は、拠点活動の効果的な情報発信と今後の拠点活動の質と量のさらなる発展に繋がる充実した会となった。



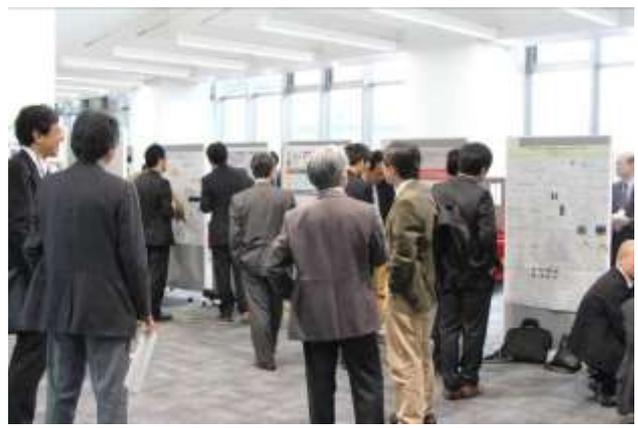
来賓挨拶
文部科学省学術機関課
牛尾則文課長



来賓挨拶
九州大学
若山正人理事



産研サテライト会場からの
中継による発表の様子



ポスターセッション



集合写真